



ツアー・オブ・ジャパン第6ステージのスタート(東京・日比谷)

## シクリスムエコーNo.119 2005年6月号



第9回 ツアー・オブ・ジャパン ..... 2



2005年全日本選手権個人タイムトライアル・ロード..... 7



2005年全日本学生選手権個人ロードレース ..... 7

第74回全日本アマチュア選手権大会トラックレース .. 8

2005年JOCジュニア・オリンピック・カップ..... 8



第52回 全日本プロフェッショナル選手権トラック ..... 10

2005年トラック短距離 強化合宿 ..... 11



第6回チャレンジ・ザ・オリンピック強化指定選手再編成  
に伴うジュニア男子選手推薦タイム設定について ... 12  
2005年ジョンジュ国際ジュニアロード代表選手団 .. 12  
2005年長距離男子ジュニアの強化指定選手..... 12  
Continental Cycling Center Shuzenji ..... 12



競技大会結果 ..... 13  
財団法人日本自転車競技連盟 個人情報保護方針 ..... 15  
UCIニュース ..... 16  
インフォメーション コーナー ..... 16  
連盟の動き ..... 16

## 第9回 ツアー・オブ・ジャパン



第1ステージ、オーストラリアの1-2フィニッシュ

### 第1ステージ<大阪>

初夏を思わせる日差し。ときおり吹き抜ける乾いた風。94選手が正午にスタートし、12.8kmの平たんコースを11周する140.8kmの高速レースに挑んだ。レースはミヤタ・スバルやシマノ・ラパネロ、地元堺市を拠点とするシマノなどの日本勢が積極的な走りを見せた。これに総合優勝をねらうバルロワールドチームが追撃をかける展開で終盤を迎えた。

残り30kmから連覇をねらうブリヂストン・アンカーの福島晋一、シマノの狩野智也、パラファームの黄金宝(香港)、バルロワールドのジャンパオロ・ケウラ(イタリア)ら有力選手を含む7人がアタック。第一集団を形成した7人は「ゴールまで一緒に逃げよう」という思惑が一致し、後続集団を徐々に引き離していく。その差はおよそ50秒まで広がった。

しかしスプリンターぞろいでゴール勝負に持ち込みたいオーストラリア勢が、後続集団の先頭に立ってペースアップ。その差は一気に詰まり、残り2kmで先頭集団を吸収した。最後のゴール勝負は、スプリント力のあるゴスをライバルを封じ込めてガッツポーズでゴールした。

積極的な走りを見せつけた福島晋一は、「いいメンバーで逃げることができたので、これは面白くなるぞと思ったが、さすがにオーストラリアは動いてくるはずだからしかたない。昨年のチャンピオンだからと守りに入るよりも、常に挑戦者として積極的な走りを

展開したかった」と語った。

飯島は「前日にツール・ド・コリアから帰国したばかりなので疲れが残っていた。でも同じ遠征メンバーも逃げていたので言い訳にしかない。大阪のコースを知り尽くしていたので5位に入っただけ。日本人1位ではなく、1位にならないとね」と語った。

### 第2ステージ<奈良>

92選手が東大寺・大仏殿前をスタートし、146.2kmのレースに挑んだ。この日は10.1kmの周回コースに入っていくなりブリヂストン・アンカーの福島康司、バルロワールドのフェリックス・カルデナス(コロンビア)とダビド・ブラザ(スペイン)、マッケンジーら6人が

アタック。総合優勝をねらう有力選手ぞろいだったため、後続の大集団から別府ら3人が追撃をかけ、先頭の6人に追いつく。2つの集団のタイム差は一時2分近くまで広がった。

総合1位のマシュー・ゴスを擁するオーストラリアナショナルチームが第2集団の先頭に立って追撃をかけるが、第1集団のペースは落ちることなく最終周回へ。ここで別府がアタックしてレースを活性化。ゴール手前の上りでマッケンジーが抜け出し、ステージ優勝を飾った。

マッケンジーは今季からオーストラリアに近いインドネシアのチームに加入した。2000年のジロ・デ・イタリアではスタート直後に独走を決め、そのまま逃げ切って区間優勝している強豪選手だ。そのステージもこの日のようなアップダウンのあるコースだった。

「ボクはスプリンターなんだけど、全力で上ればなんとかクリアできる上りだった。第1集団の中で体力を温存することを心がけ、最後のスプリントに備えた」とマッケンジー。

ブリヂストン勢に対して貯金を稼いだ別府は、「ライバルにここでタイム差を稼げたのは大きい。まだ安心できないけど明日の休養日は楽しく過ごせるかな。南信州で遅れないように心がけ、いい感じで富士山に臨めれば...」と語った。



第2ステージ、フィニッシュライン付近の登りを行く先頭集団

## 第2ステージ、他を振り切りフィニッシュするマッケンジー



## 第3ステージ&lt;南信州&gt;

この日はJR飯田駅前をスタートし、7.3kmをパレード。12.2kmの周回コースに入ってから戦いの火ぶたが切って落とされ、起伏に富むコースを12周した。1周目に豪州ナショナルチームのジェームス・メッドリ、ウィズミラックのクリストファー・ブラッドフォード(豪州)カベックのピクトール・シェスタコブ(カザフスタン)、コニカミノルタのジェームス・ペリー(南アフリカ)の4人が先頭集団を形成。最大で2分20秒差を後続集団につけた。

これに対して、第1集団に選手を送

り込めなかった日本勢やバルロワールドが追撃を開始。ゴールまでの距離を考慮しながら徐々にタイム差を詰めていく。先頭集団から脱落者が出るなか、残り2周になったところでカベックのアレクサンドル・ディアチェンコ(カザフスタン)がアタックして先頭へ。この動きにカルデナスが反応し、カベックのカイラット・パイグディノフ(カザフスタン)とともに追撃。先頭集団は大詰めで3人になった。

数では不利な展開となったカルデナスだが、上りで常に余裕のある走りを見せつけ、あっという間にカベックの2人

を置き去りにして、最後は単独でゴールに飛び込んできた。

「トップの4人に2分以上の差をつけられていたが、ボクたちのチームはあわてていなかった。こういったステージレースでは、必ず勝つと信じるのが大事なんだ。オレは上りが得意なので、今日は総合トップになるために走った」とカルデナス。

日本人1位の野寺は、「バルロワールドのアシストがカルデナスを勝たせるために強かに動いていた。選手のほとんどが疲れてきた終盤戦に、一気に勝負を決める走りを見せつけられた。海外勢は強いけど、地元の静岡に帰るので優勝を目指して挽回したい」と野寺。

## 第4ステージ&lt;富士山&gt;

コースとなった「ふじあざみライン」は、富士山に登る舗装路としては最も急勾配のルート。この日はここをひたすら上る個人タイムトライアルだ。距離11.4kmで、高低差は1,200mというから平均勾配値は10.5%以上となる。ツール・フランスのラルプデュエズでも距離13.8kmで勾配値7.9%なのだから想像を絶するほど過酷な上り坂だ。

各チームのメカニックは前日までに使用する自転車のギヤを変更するなど山岳用にチューンナップ。各選手が1分間隔で、総合成績のトップ5となる最後の5選手は2分間隔でスタートした。

この日の戦いは18番目にスタートした南アフリカのジョージ・スクーン



第3ステージ、4人の先頭集団



第3ステージ、大勢の観衆の前フィニッシュするカルデナス

第4ステージの急勾配を制したミズロフ



ロード コニカミノルタ が46分26秒22の好タイムを記録。これをカザフスタンチャンピオンのミズロフが40分27秒72の驚異的なタイムで逆転。結局後続の選手はだれもこの記録を上回ることができず、ミズロフが区間優勝した。

ミズロフは前日までの総合成績で1分37秒遅れの12位。この日の記録で1分10秒遅れの総合2位に浮上。最終走者として登場したカルデナスは40分54秒92でゴールし、総合トップを守った。

「前日に時間が足りなくて試走できなかった。後半がキツイと思ってスタートしたけれど、実際には前半のほ

うが厳しかった。試走していればあと30秒は短縮できたはずだ」とミズロフ。

狩野は区間7位、日本勢トップとなる42分54秒80でゴール。

「スピードの高いオランダで走っていたため、筋肉が変わって体重が増えてしまった。中間地点まではミズロフから30秒ほどの遅れだったが、ラストの4kmで

ペースダウンした。明日の伊豆ステージが勝負どころなので、順位を上げるために攻める走りをしたい」と狩野。

### 第5ステージ<伊豆>

今年から大きく変ぼうした伊豆ステージ。日本CSCをスタートし、一般道を亀石峠へ。ここから伊豆スカイラインに入って北上。熱海峠でUターンして南下し、最南端の天城峠で折り返す。亀石峠から日本CSCに戻って8kmサーキットを5周回する。今大会の最難関だ。

この日はスタート後から日本勢を中心に積極的なアタックが連発。プリヂストン・アンカーの福島晋一と田代恭崇、シマノの狩野智也、パラファームの黄金宝(香港)の4人が第1集団を形成した。アジアの有力選手がそろった強



併催されたサイクリングに参加する橋本聖子さん



第5ステージ、かすかに富士山が見える伊豆スカイラインの先頭集団(日本人3人+黄)

力な逃げは、黄が中心となってハイペースを維持し、伊豆スカイライン全線を逃げ切り、日本CSCに戻った。

しかし総合トップのカルデナスを擁するバルロワールド勢が第2集団の先頭に立ってペースアップ。次第にその差を縮めて吸収に成功。最後はゴール手前の上り坂でカルデナスがアタックしてトップフィニッシュした。

「ステージレースで総合優勝したことはあるけど、すべての賞を総ナメにしたのは初めて。体調がホントにいいんだ。東京は序盤から集団の先頭に立って、レースをコントロールしていきたい」とカルデナス。

「4選手が逃げたとき、有力選手ぞろいだったので、そこに加われなかったのが残念だった。でもそれを追って後続集団のペースを引っ張ってしまったら、狩野選手の逃げをつぶしてしまう」

と野寺。「海外の強豪選手を相手に、日本勢も積極的な走りを見せているのが収穫。実家に近い伊豆スカイラインも走れてうれしかった。自動車専用道という認識だったので、まさか自転車で走れるなんて夢のようだった」

### 第6ステージ<東京>

午前11時に東京の中心部、日比谷シティ前をスタートして南下。18.6kmの一般道を走って1周10.5kmの大井ふ頭周回コースに入った。レースは序盤から日本選手が積極的なアタックを連発。これに対してカルデナスの総合1位を守ろうとするバルロワールドのチームメート5人が、後続集団の先頭に立って致命的な差をつけられないようにペースメイクした。

さらにゴールスプリントに持ち込んで区間勝利をものにしたいシマノ・メモリーコープや豪州ナショナルチームがハイペースで追撃。ゴールまでにすべての逃げが吸収され、サンダーソンが爆発的なパワーを発揮してトップフィニッシュした。豪州チームは2つの平坦ステージである大阪と東京を制したことになる。

カルデナスはトップと同タイムの集団のなかでゴールし、ツアー・オブ・ジャパンの初優勝を決めた。チーム優勝はカザフスタンのカベックが獲得した。

第5ステージ、CSCの山岳ポイントを通るカルデナス



結果としてはカルデナスという山岳スペシャリストの圧勝に終わった。しかし果敢に勝負を挑んだ日本勢にも注目したい。日本の山岳王というポジションを確実にした狩野智也。連覇の夢を断たれたものの攻撃的な走りに徹した福島晋一。東京でも数えきれないほどのアタックを見せた福島康司。日本チャンピオンの意地を伊豆スカイ

ラインでアピールした田代恭崇。山岳ステージでキラリと光る走りを見せた別府匠、野寺秀徳、西谷泰治など。

ツアー・オブ・ジャパンはこの日をもって終了したが、ここ数年で確実にレベルアップしている日本選手たちが、本場ヨーロッパに飛び出して活躍する日もそう遠くないはずだ。

(山口 和幸)



第5ステージ<伊豆スカイライン>先頭4人を追うメイン集団。バルロワールドが先頭を固める。

第3ステージ、フィニッシュ地点の大型ビジョンで観戦する地元の子供たち



東京ステージのスタート前



東京ステージ、道路規制を待つ選手達

[ 競技結果 ]

第9回ウー・オヴ・ジ・パノ (2005/5/15-22)  
大阪・奈良・南信州・富士山・伊豆・東京)

第1ステージ (大阪)

- 1 GOSS Mathew AUS AUS 3:01:58
- 2 SANDERSON Nicholas AUS AUS 3:01:58
- 3 BAZAYEV Assan KAZ CAP 3:01:58
- 4 CARRARA Matteo ITA TBL 3:01:58
- 5 飯島 誠 JPN RVN 3:01:58
- 6 宮澤 崇史 JPN BGT 3:01:58
- 7 三船 雅彦 JPN MYT 3:01:58
- 8 綾部 勇成 JPN MYT 3:01:58
- 9 FULLARD Jacques RSA KON 3:01:58
- 10 WONG Ngai Ching HKG PUR 3:01:58

第2ステージ (奈良)

- 1 MCKENZIE David AUS WIT 3:48:05
- 2 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 3:48:06
- 3 BAZAYEV Assan KAZ CAP 3:48:06
- 4 PLAZA David ESP TBL 3:48:11
- 5 別府 匠 JPN AIS 3:48:14
- 6 LONGOBORGHINI Paolo ITA TBL 3:48:20
- 7 西谷 泰治 JPN AIS 3:48:23
- 8 福島 康司 JPN BGT 3:48:25
- 9 CARRARA Matteo ITA TBL 3:49:28
- 10 WONG Kam Po HKG PUR 3:49:28

第3ステージ (南信州)

- 1 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 4:12:01
- 2 BAIGUDINOV Kairat KAZ CAP 4:12:06
- 3 DYACHENKO Alexandr KAZ CAP 4:12:09
- 4 BAZAYEV Assan KAZ CAP 4:12:16
- 5 CARRARA Matteo ITA TBL 4:12:16
- 6 MIZUROV Andrey KAZ CAP 4:12:16
- 7 CLARKE Simon AUS AUS 4:12:16
- 8 野寺 秀徳 JPN SHM 4:12:16
- 9 WACKER Eugen KGZ CAP 4:12:16
- 10 真鍋 和幸 JPN NIP 4:12:16

第4ステージ (富士山)

- 1 MIZUROV Andrey KAZ CAP 40:27.7
- 2 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 40:54.9
- 3 CARRARA Matteo ITA TBL 41:33.9
- 4 THUAUX Phillip AUS WIT 41:41.2
- 5 AUGUSTYN John-Lee RSA KON 42:05.6
- 6 BAIGUDINOV Kairat KAZ CAP 42:31.3
- 7 狩野 智也 JPN SHM 42:54.8
- 8 PLAZA David ESP TBL 42:57.6
- 9 PERRY James RSA KON 43:03.2
- 10 CHEULA Gian Paolo ITA TBL 43:15.7

第5ステージ (伊豆)

- 1 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 3:37:47
- 2 CARRARA Matteo ITA TBL 3:37:49
- 3 野寺 秀徳 JPN SHM 3:37:51
- 4 CLARKE Simon AUS AUS 3:37:51
- 5 MCKENZIE David AUS WIT 3:37:51
- 6 西谷 泰治 JPN AIS 3:37:51
- 7 THUAUX Phillip AUS WIT 3:37:53
- 8 MIZUROV Andrey KAZ CAP 3:37:53
- 9 SUTTON Christopher AUS AUS 3:37:53
- 10 DYACHENKO Alexandr KAZ CAP 3:37:55

第6ステージ (東京)

- 1 SANDERSON Nicholas AUS AUS 3:16:18
- 2 BAZAYEV Assan KAZ CAP 3:16:18
- 3 宮澤 崇史 JPN BGT 3:16:18
- 4 三船 雅彦 JPN MYT 3:16:18
- 5 FULLARD Jacques RSA KON 3:16:18
- 6 CARRARA Matteo ITA TBL 3:16:18
- 7 MCKENZIE David AUS WIT 3:16:18
- 8 綾部 勇成 JPN MYT 3:16:18
- 9 小畑 郁 JPN NAL 3:16:18
- 10 CHAN Chun Hing HKG PUR 3:16:18

個人総合時間順位

- 1 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 18:37:04



- 2 MIZUROV Andrey KAZ CAP 18:38:20
- 3 CARRARA Matteo ITA TBL 18:39:22
- 4 THUAUX Phillip AUS WIT 18:39:34
- 5 BAIGUDINOV Kairat KAZ CAP 18:40:17
- 6 狩野 智也 JPN SHM 18:40:50
- 7 PERRY James RSA KON 18:40:59
- 8 別府 匠 JPN AIS 18:41:21
- 9 MCKENZIE David AUS WIT 18:41:28
- 10 DYACHENKO Alexandr KAZ CAP 18:41:33

個人総合ポイント賞

- 1 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 42 p
- 2 BAZAYEV Assan KAZ CAP 40 p
- 3 CARRARA Matteo ITA MTB 33 p
- 4 SANDERSON Nicholas AUS AUS 27 p
- 5 MCKENZIE David AUS WIT 25 p
- 6 三船 雅彦 JPN MYT 19 p

個人総合山岳賞

- 1 CARDENAS RAVALO Felix Rafael COL TBL 23 p
- 2 MIZUROV Andrey KAZ CAP 18 p
- 3 AUGUSTYN John-Lee RSA KON 16 p
- 4 狩野 智也 JPN SHM 14 p
- 5 PLAZA David ESP TBL 14 p
- 6 PERRY James RSA KON 10 p

団体総合時間順位

- 1 CAPEC KAZ 55:58:49



- 2 BARLOWORLD GBR 55:59:59
- 3 WISMILAK INA 56:03:21
- 4 SHIMANO NED 56:08:05
- 5 KONICA MINOLTA RSA 56:08:22
- 6 愛三工業 JPN 56:28:23

## 2005年全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース

6月12日(日)秋田県大湯村ソーラースポーツライン(1周15km)において2005年全日本選手権個人タイムトライアルロードレース大会が開催された。



個人タイムトライアルロードレースはオリンピックや世界選手権の種目でもあり、今大会は全日本チャンピオンを決める権威ある大会である。集団でのロードレースとは異なり、一人一人の実力が試されるレースだ。

当日の天候は曇り、8時20分女子の部から競技が始まった。一人ずつ1分～2分おきにカウントダウン方式でスタートし競技が行われた。

結果、女子は、昨年のチャンピオンの唐見実世子(JPCA/SAFI・PASTAZARA)が昨年に続き優勝。男子ジュニアは土屋壮登(埼玉)、男子U23は新城幸也(BSエスポワール)が優勝。最後の部門の男子エリートは、飯島 誠(JPCA・スミタラパネロパールイズミ)が2年連続、この種目3度目の全日本チャンピオンに輝いた。

### [ 競技結果 ]

2005年全日本選手権個人タイムトライアルロードレース  
(2005/6/12 秋田・ソーラースポーツライン)

#### Elite (30km)

1	飯島 誠	JPCA スミタラパネロ	39:05:437
2	盛 一大	愛知 愛三工業	39:15:589
3	狩野 智也	JPCA シルルシグ	39:35:101
4	西谷 泰治	愛知 愛三工業	39:54:467
5	柿沼 章	栃木 ミヤガハル	40:17:293
6	広瀬 敏	JPCA 愛三工業	40:47:332



7	三船 雅彦	JPCA ミヤガハル	40:48:411
8	飯島 規之	JPCA JPCU埼玉	40:48:805
9	阿部 良之	JPCA シルルシグ	40:58:898

10	大内 薫	JPCA シルルシグ	41:10:042
U23 (30km)			
1	新城 幸也	沖縄 BSエスポワール	41:40:338
2	畑中 勇介	東京 ブリヂストン	41:55:620
3	高島 豪	埼玉 中央大学	43:02:276
4	村山 規英	東京 ブリヂストン	43:36:011
5	坂本 裕季	兵庫 立命館大	44:04:368
6	大野 涼太	青森 中央大学	44:06:823
7	石浦 一憲	京都 立命館大	44:15:476
8	片山 和正	岡山 鹿屋体大	44:53:277
9	柏原 剛	京都 立命館大	44:57:540
10	長江 寿也	青森 中央大学	45:06:413

#### ジュニア (20km)

1	土屋 壮登	埼玉	27:28:077
2	渡邊 正光	福島 平工業高	27:30:257
3	小野寺悠太	福島 平工業高	28:05:921
4	大園 健太	奈良 北大和高	28:14:264
5	土屋 貴裕	山形 山形電波	28:39:644
6	竹之内 悠	京都 宇治高校	29:01:675
7	宗前 将太	青森 八戸工業	29:43:157
8	佐伯 翔	福島 平工業高	29:51:606
9	池田 諒	群馬 明治大学	30:24:411
10	中山 大雄	鹿児島 鹿児島実	30:26:239

#### 女子 (15km)

1	唐見実世子	JPCA SAFI	21:41.825
2	萩原麻由子	群馬 鹿屋体大	23:04.978
3	西 加南子	千葉 スミタラパネロ	23:35.800
4	豊岡 英子	広島 bicinoko	23:36.498
5	宮崎 杏菜	大分 鹿屋体大	23:54.847
6	永田 萌子	大分 明治大学	24:26.868
7	日暮 千早	鹿児島 鹿屋体大	24:40.412
8	石井 愛	京都 花園高校	25:32.288
9	古川ひとみ	新潟 立教大学	26:00.623
10	中山 朋子	神奈川	27:01.355



## 2005年全日本学生選手権個人ロードレース

今年で20回目となる全日本学生選手権個人ロードレース大会が、6月4、5日の両日、長野県木祖村・奥木曾湖周回コース(1周9km)で開催された。

4日に行われた女子レースでは、3周目から独走態勢を築いた萩原麻由子が、2位に6分10秒の大差をつけて完勝した。

翌5日の男子レースでは、途中メンバーの入れ替わりがありながらも3周目から最後まで逃げ集団に属していた三瀧光誠が、1kmで100m上るゴール前の激坂も見事に決めて優勝した。男女とも鹿屋体育大学所属で、大学の大会では珍しいアベック優勝となった。

この大会で公道を使うのは第3回大

会以来17年振り。コースを両日ともほぼ全日に渡りクローズドできたため、女子が100km・3時間、男子が181km・4時間40分という長丁場のレースを設定できた。このことは学生の競技力アップに繋がるものであろう。これは木祖村村長である栗屋氏と、開催地の味噌川ダム管理所長の塩満氏を始めとする地元の方々、及び長野県車連の協力なくてはできないことで、皆様には厚く御礼を申し上げます。(村田 隆宣)

### [ 競技結果 ]

2005年全日本学生選手権個人ロードレース  
(2005/6/4-5 長野・奥木曾湖周回コース)

#### 男子個人ロードレース (181km)

1	三瀧 光誠	山形 鹿屋体育大	4:41:09
---	-------	----------	---------

2	渡辺 将大	群馬 中央大学	4:41:14
3	糸賀 賢司	福島 日本大学	4:41:17
4	舟木 誠	福島 日本大学	4:41:34
5	中島 康晴	福井 鹿屋体育大	4:42:04
6	秋山 英也	長野 日本大学	4:42:32
7	後藤 辰徳	岐阜 日本大学	4:43:12
8	柴田 一樹	神奈川 朝日大学	4:43:19
9	島田 真琴	東京 法政大学	4:43:33
10	大村 寛	鹿児島 法政大学	4:43:37

#### 女子個人ロードレース (100km)

1	萩原麻由子	群馬 鹿屋体育大	3:03:55
2	宮崎 杏菜	大分 鹿屋体育大	3:10:05
3	小淵 千恵	群馬 順天堂大学	3:13:45
4	栗原 瞳	埼玉 順天堂大学	3:14:59
5	佐藤紗久香	北海道 北海道大学	3:17:51
6	永田 萌子	大分 明治大学	3:18:03
7	高倉 実希	岩手 早稲田大学	3:18:21



## 第74回全日本アマチュア選手権大会トラックレース 2005年JOCジュニア・オリンピック・カップ

5月28・29日の2日間、「2005年JOCジュニア・オリンピック・カップ」と「第74回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレース」が新設された秋田の六郷自転車競技場(333m)において開催された。

なお、ジュニア・オリンピック・カップにおける「JOCカップ」は男子が小原将通(大分・別府商業高校)、女子は岡希美(群馬・法政大学)が受賞した。



# 日本一のサイクリングロード を体感しよう!!

まずは、ご連絡ください。

※ただし、お盆の期間を除かせていただきます。

**夏期合宿の団体割引有り!!**

やばけい  
**耶馬溪サイクリングターミナル**

住 所：〒871-0405 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂353番地

TEL & FAX：0979-54-2655 (かわの)

ホームページ： <http://www.city-nakatsu.jp/modules/yabakei/>



2005年JOCシクリスムエコー (2005/5/28-29 秋田・六郷自転車競技場333m)

男子1kmタイムトライアル

- 1 片折 亮太 埼玉 鳩山高校 1:09.014
- 2 我妻 敏 福島 学法石川高 1:09.412
- 3 柁原 翔太 神奈川 横浜高校 1:09.854
- 4 山崎 将幸 秋田 能代西高校 1:10.130
- 5 小川 幸樹 滋賀 瀬田工OB 1:10.539
- 6 松川 高大 熊本 九州学院高 1:10.672

男子スプリント

- 1 小原 将通 大分 別府商業高校
- 2 佐々木吉徳 秋田 大曲農業高校
- 3 阿部 力也 宮城 東北高校
- 4 岡本 総 愛知 桜丘高校
- 5 森川 大輔 岐阜 岐阜第一高校
- 6 伊原 陽平 兵庫 日生学園第三高校

男子3km個人追抜競走

- 1 川西 貴之 岐阜 日本大学 3:38.582
- 2 角 令央奈 兵庫 日生第三高 3:40.030
- 3 我妻 敏 福島 学法石川高 3:42.343
- 4 武田 和也 奈良 榛原高校 3:48.224
- 5 田崎 裕也 福島 学法石川高 3:43.921
- 6 須永 優太 福島 白河実業高 3:47.250

男子ホクトレース

- 1 兼平 純 岩手 紫波総合高校 18 p
- 2 市山 研 神奈川 法政第二高校 14 p
- 3 土屋 壮登 埼玉 川越工業高校 13 p
- 4 須永 優太 福島 白河実業高校 13 p
- 5 穂苅 大地 新潟 吉田高校 11 p
- 6 松木 涉 岡山 岡山工業高校 10 p

女子500mタイムトライアル

- 1 岡 希美 群馬 法政大学 38.021
- 2 河端あゆみ 鳥取 倉吉総合高 39.965
- 3 川又 千裕 鹿児島 南大隅高校 39.978
- 4 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学 40.269
- 5 岸本紗也加 熊本 千原台高校 40.538
- 6 和田見里美 鳥取 倉吉東高校 40.738

女子スプリント

- 1 岡 希美 群馬 法政大学
- 2 河端あゆみ 鳥取 倉吉総合産業高校
- 3 福島 麻実 熊本 千原台高校
- 4 栗原 瞳 埼玉 順天堂大学
- 5 上野 左智 大分 別府商業高校

女子2km個人追抜競走

- 1 和田見里美 鳥取 倉吉東高校 2:46.589
- 2 岸本紗也加 熊本 千原台高校 2:53.275
- 3 井上 玲美 東京 東海管生高 2:57.400
- 4 森 智恵美 京都 順天堂大学 2:57.970
- 5 細川 さき 岩手 盛岡農業高 3:04.254
- 6 江苅 幸 岩手 盛岡農業高 3:05.947

JOCカップ受賞者

男子 小原将通(大分) 女子 岡 希美(群馬)

第74回全日本アマチュア選手権大会トラックレース

(2005/5/28-29 秋田・六郷自転車競技場333m)

男子1kmタイムトライアル

- 1 吉田 将成 岐阜 日本大学 1:09.566
- 2 川崎 大慈 熊本 順天堂大学 1:09.582
- 3 三谷 将太 滋賀 スターグR. 1:09.668
- 4 在本 直樹 岡山 玉野ｽﾀｰｸﾞC 1:09.864
- 5 佐川 翔吾 大阪 順天堂大学 1:10.203
- 6 桜井 太士 鳥取 中央大学 1:10.211

男子スプリント

- 1 和田 圭 宮城 東北学院大学
- 2 園田 鉄平 北海道 北海学園北見大学
- 3 佐川 翔吾 大阪 順天堂大学
- 4 水野 悟志 静岡 法政大学
- 5 河端 朋之 鳥取 倉吉農業高校・教
- 6 河村 雅章 東京 日大 90

男子4km個人追抜競走

- 1 西谷 泰治 愛知 愛三工業 4:54.437
- 2 明珍 周平 福島 法政大学 4:56.298
- 3 片山 智晴 岡山 法政大学 4:56.014
- 4 太田 貴明 京都 京都産大 4:56.868
- 5 盛 一大 愛知 愛三工業 5:03.718
- 6 高島 豪 埼玉 中央大学 5:03.806

男子ケリソ

- 1 東矢 昇太 熊本 中央大学
- 2 川崎 大慈 熊本 順天堂大学
- 3 下沖 功児 宮崎 慶應義塾大学
- 4 大村 慶二 東京 日大
- 5 鈴木雄一郎 山梨 日本大学
- 6 屋良 朝春 沖縄 日本大学

男子ホクトレース

- 1 盛 一大 愛知 愛三工業 97 p

- 2 西谷 泰治 愛知 愛三工業 72 p
- 3 佐藤 佑一 岩手 順天堂大学 25 p
- 4 柴田 裕也 岐阜 法政大学 9 p
- 5 遠藤 邦明 宮城 法政大学 7 p
- 6 三瀬 光誠 山形 鹿屋体育大学 7 p

男子チームスプリント

- 1 鳥 取 福井・河端・桜井 1:06.154
- 2 学 連 内田・佐川・川崎 1:09.422
- 3 高体連 片折・我妻・阿部 1:06.601

男子4km団体追抜競走

- 1 岐阜 吉田・青木・川西・中島 4:32.907
- 2 学連 明珍・片山・池浦・高橋 4:33.675
- 3 高体連 角・柁原・武田・渡邊 4:38.680

女子500mタイムトライアル

- 1 太刀川麻也 茨城 スパ-K 37.460
- 2 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大 37.952
- 3 佃 咲江 北海道 北見大学 38.503
- 4 沼部早紀子 栃木 順天堂大学 38.969
- 5 川満 佳子 熊本 千原台高・教 39.112
- 6 石井 寛子 埼玉 明治大学 39.816

女子スプリント

- 1 佃 咲江 北海道 北海学園北見大学
- 2 太刀川麻也 茨城 スパ-Kアスリート
- 3 遠藤 友子 大分 鹿屋体育大学
- 4 川満 佳子 熊本 千原台高校・教
- 5 佐藤 美香 大分 名桜大学
- 6 沼部早紀子 栃木 順天堂大学

女子3km個人追抜競走

- 1 村中恵美子 東京 日大 4:11.392
- 2 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大 4:11.937
- 3 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大 4:17.572
- 4 大塚 沙織 大阪 キャットアイ 4:21.633
- 5 松永 舞美 香川 法政大学 4:23.948
- 6 小淵 千恵 群馬 順天堂大学 4:25.059

女子ホクトレース

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大学 29 p
- 2 石井 寛子 埼玉 明治大学 26 p
- 3 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大学 23 p
- 4 中山 朋子 神奈川 18 p
- 5 松永 舞美 香川 法政大学 15 p
- 6 村中恵美子 東京 GS・日大 13 p



# 末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして

ありがとうございます。

シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と

末永くお付き合いいただけるよう、

各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

**SHIMANO**

www.shimano.com

XBC001-A

## 第52回 全日本プロフェッショナル選手権トラックレース

4km個人追抜競走、優勝の内田



ツアー・オブ・ジャパンの全ステージが終了した翌日の5月23日、千葉県松戸競輪場において、第52回全日本プロフェッショナル選手権トラックレースが行われた。

昨年の大会は天候に恵まれず、ポイントレースが中止されるアクシデントもあったが、今年はタイトなスケジュールの中、全種目が無事終了した。(結果は次ページ下参照)



ナイター照明下でのケイリン決勝スタート



スプリント優勝の成田



ケイリンの覇者、神山



## 2005年トラック短距離 強化合宿

2005年トラック短距離の強化合宿が福島県の泉崎において定期的に行われている。

第1回目は5月7日～9日に、ワールドカップ・世界選を戦ってきた成田、及川、渡邊が参加して行われた。

フライング系はタイムも良かったが、スタンディングスタートはまだまだで、フォームを含めたトレーニングの必要性が感じられた。

第2回目は5月29日～30日に1回目の参加選手を含め、競輪学校を卒業した強化・育成チームの北津留、新田、吉松、早坂が参加した。

新人選手の意気込みは物凄く、充実したトレーニングが連日行われた。

29日のトレーニングでは疲労困憊の状態、1回目は集中も無く、だれた状態での走りだったので、2回目を前にトレーニングに対する心構えを話した。『トレーニングは集中と気合だ。だれた状態では何回走っても向上は無い…。』次からの走りは別人だった。3回、4回と記録を伸ばし夫々が自己記録を更新した。

なお、3回目の合宿は6月19日～25日に同じ泉崎で行われる予定。

(班目 秀雄)

### [ 各自の記録 ]

渡邊 一成 SPP 333m 17秒63(ナルコード)  
(200mトップ 10秒45)

成田 和也 SPP 200m 10秒49

及川 裕奨 SPP 200m 10秒44

5MP( FS500m )28秒62

北津留 翼 SPP 200m 10秒43

新田 雄大 SPP 200m 10秒56

早坂 秀悟 SPP 200m 10秒88

吉松 直人 SPP 200m 10秒75



### [ 競技結果 ]

第52回全日本プロフェッショナル選手権トラックレース  
(2005/5/23 千葉・松戸競輪場)

#### 1kmタイムトライアル

- 村上 博幸 京都 近畿地区 1:05.450
- 武田 豊樹 茨城 関東地区 1:06.371
- 及川 裕奨 岩手 北日本地区 1:06.438
- 矢口啓一郎 群馬 関東地区 1:06.804

#### スプリント

- 成田 和也 福島 北日本地区
- 稲垣 裕之 京都 近畿地区
- 金子 貴志 愛知 中部地区
- 布居 寛幸 和歌山 近畿地区

#### 4km個人追抜競走

- 内田 慶 栃木 関東地区 4:50.202
- 飯島 規之 埼玉 関東地区 5:08.088
- 原田 和明 千葉 南関東地区 5:08.279
- 鳥生 知八 愛媛 四国地区 5:10.716

#### ポイントレース

- 小松 剛之 宮城 北日本地区 14 p
- 岩津 裕介 岡山 中国地区 13 p
- 山中 猛 沖縄 九州地区 12 p
- 齋藤 勝 広島 中国地区 12 p

#### ケイリン

- 神山雄一郎 栃木 関東地区
- 海老根恵太 千葉 南関東地区

- 高橋 光宏 群馬 関東地区
- 高木 隆弘 神奈川 南関東地区

#### 4km団体追抜競走

- 近畿地区 窓場・久米・岩崎・山岸 4:32.016
- 南関東地区 遠澤・梶山・川越・畠山 4:32.865
- 九州地区 大塚・菅原・加藤・安東 4:34.333
- 中部地区 坂上忠・坂上樹・辻・岩本 4:34.813

#### チームスプリント

- 四国地区 渡部・濱田・岡本 1:02.129
- 北日本地区 伏見・佐藤・佐々木 1:02.400
- 関東地区 武田・山田・長塚 1:02.706
- 近畿地区 松山・渡辺・高城 1:03.514

第6回チャレンジ・ザ・オリンピック強化指定選手再編成に伴うジュニア男子選手推薦タイム設定について

将来有望な選手を発掘し、育成していくという目的から、新たにジュニア男子の推薦タイムを以下のとおり設定することになりましたのでお知らせします。なお、交通費支給基準タイムは現行どおりといたします。

**ジュニア男子強化指定推薦タイム**

200mタイムトライアル( フライング )	10秒800以内
250mタイムトライアル( スタンディング )	18秒700以内
1kmタイムトライアル( スタンディング )	1分06秒500以内

なお、3kmタイムトライアル( スタンディング )につきましては現行どおり3分40秒000以内といたします。

大会は7月10日( 日 ) 静岡県・日本サイクルスポーツセンター250m走路、詳しくはホームページ < <http://www.jcf.or.jp> > をご覧ください。

2005年チョン・ジュMBC国際ジュニアロードレース  
日本代表選手団

大会名 チョン・ジュMBC国際ジュニアロードレース  
開催場所 大韓民国・チョンジュ市  
大会期間 2005年6月12日～18日  
派遣期間 2005年6月10日～19日  
代表選手団 監督 折本 裕樹( 取手第一高校 )  
コーチ 中田 将次( 熊本市立千原台高校 )  
スタッフ 寺本 建太( 埼玉 )  
選手 市山 研( 神奈川・法政第二高校 )  
角 令央奈( 兵庫・日生学園第三高校 )  
大久保光次( 宮城・東北高校 )  
針谷大二郎( 栃木・作新学院高等学校 )  
湯浅 徹( 千葉・京葉工業高校 )  
続谷 利次( 東京・昭和第一学園高校 )

2005年長距離強化指定選手の追加・変更

( 2005.6.15現在 )

男子アンダー23 :

松村 光浩・島田 真琴・蛭名 洋平

男子ジュニア :

角 令央奈・土屋 壮登・大園 健太・湯浅 徹  
市山 研・大久保光次・針谷大二郎・続谷 利次

男・女エリートについては変更なし( エコーNo.116をご参照ください。 )

男子ジュニア強化指定選手( 長距離 )の認定について

男子ジュニア強化指定選手( 長距離 )の認定にあたっては、以下の通りとする。

1 .ツール・ド・東北( 高校生の部 )

( 1 )優勝者 ( 2 )高校1年生・2年生の成績上位者2名

2 全国高等学校対抗自転車競技大会( インターハイ )

( 1 )優勝者 ( 2 )高校1年生・2年生の成績上位者2名

 **Continental Cycling Center Shuzenji**

日本サイクルスポーツセンター内にある、コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺( CCC修善寺 )は、このほど2005年第1回トレーニングキャンプを開催し、チャイニーズタイペイ、ホンコンチャイナ、日本( 女子 )、大韓民国の4カ国から、5名のコーチと17名の選手の参加がありました。その中でも、ジュニア世界選手権大会やアジアトラックカップでメダルを獲得した選手が多数集まり、梅雨時の天候に左右されながらも有意義でレベルの高いトレーニングを実施することが出来ました。( 野田 尚宏 )



ホンコンチャイナ



日本・チャイニーズタイペイ・大韓民国

# 競技大会 結果

大会名、チーム名等については略して記載

## 第39回全日本実業団東日本サイクルロードレース (2005/4/29 群馬・群馬CSC)

## BR-1 (120km)

1	廣瀬 敏	JPCA 愛三工業	3:03:44
2	廣瀬 佳正	JPCA シルバリング	3:03:45
3	三船 雅彦	JPCA ミヤギバル	3:04:04
4	野寺 秀徳	JPCA シルバリング	3:04:32
5	阿部 良之	JPCA シルバリング	3:05:21
6	大内 薫	JPCA シルバリング	3:05:33
7	秋田 謙	愛知 愛三工業	3:05:33
8	盛 一大	愛知 愛三工業	3:05:33
9	橋川 健	福島 村ノCCD	3:05:35
10	中川康二郎	JPCA ミヤギバル	3:06:02

## BR-2 (72km)

1	辻浦 圭一	奈良 ブリヂストン	1:52:12
2	恵阿珠 朝	福島 スミタハ 和	1:52:18
3	金田 智行	埼玉 ミヤギバ	1:52:46
4	増田 成幸	宮城 ヘルキップ	1:52:46
5	林 裕也	北海道 チム・チェア	1:52:48
6	福原 大	埼玉 SERENO	1:52:48
7	小室 雅成	埼玉 ダイワボウ	1:52:49
8	山田 隆史	山梨 オバートビエール	1:52:49
9	細川 倫央	京都 村ノCCD	1:52:49
10	塚野 満	千葉 L.ottimo	1:52:49

## BR-3 (54km)

1	勝沼 麗生	埼玉 スミタハ 和	1:24:39
2	廣島 和彦	岐阜 大垣レック	1:24:43
3	阿部 寿完	静岡 YOU CAN	1:24:44
4	櫻井 一輝	静岡 SPADE・ACE	1:24:45
5	土田 ヲヲ	愛知 イェクト	1:24:46
6	NEIL MILLAR	千葉 チム・チェア	1:24:46
7	荒嶋 啓太	東京 なるしまF.	1:24:46
8	浴 啓之	栃木 じてんしゃの杜	1:24:46
9	砂原 峰男	大阪 masahikomifune	1:24:46
10	今井 康人	静岡 SPADE・ACE	1:24:46

## 女子 (60km)

1	村中恵美子	東京 村ノCCD	1:50:38
2	永山 貴生	千葉 SPACE	1:51:04
3	岡野 尚美	静岡 SPADE・ACE	1:51:21
4	戸井麻里子	埼玉 なるしまF.	1:51:24
5	小山美貴子	埼玉 ZELKOVA	1:53:41
6	井上 玲美	東京 日野自動車	1:56:05
7	小谷 翠	愛媛 NCFR	1:56:29
8	和地 恵美	東京 たかだフル	1:56:43
9	茅野 真央	東京 じてんしゃの杜	1:58:39
10	川上 雅子	-	2:00:37

## サイクルロード2005 (UCI2-2)

(2005/5/7-13 大韓民国)

## 700g (1.4km) 5/7

1	GWAK, Hun Sin	KOR Sang Moo	1:36:36
---	---------------	--------------	---------

2	PARK, Seong Baek	KOR Seoul City	1:36:44
3	JANG, Seon Jae	KOR Sang Moo	1:37:18
4	岡崎 和也	JPN Japan	1:37:51
8	野寺 秀徳	JPN Shimano	1:39:19
14	大内 薫	JPN Shimano	1:40:43
20	飯島 誠	JPN Japan	1:41:12
26	辻 貴光	JPN Shimano	1:41:58
27	廣瀬 佳正	JPN Shimano	1:41:79
48	狩野 智也	JPN Shimano	1:43:66
55	真鍋 和幸	JPN Japan	1:44:28
84	田代 恭崇	JPN Japan	1:48:20
89	阿部 良之	JPN Shimano	1:49:03
113	橋川 健	JPN Japan	2:09:52

## 第1ステージ (167.1km) 5/8

1	PARK, Seong Baek	KOR Seoul City	4:11:23
2	JANG, Seon Jae	KOR Sang Moo	4:11:23
3	KIM, Dong Hun	KOR Seoul City	4:11:23
25	野寺 秀徳	JPN Shimano	4:11:23
27	岡崎 和也	JPN Japan	4:11:23
28	真鍋 和幸	JPN Japan	4:11:23
37	廣瀬 佳正	JPN Shimano	4:11:23
38	狩野 智也	JPN Shimano	4:11:23
39	大内 薫	JPN Shimano	4:11:23
41	阿部 良之	JPN Shimano	4:11:23
47	田代 恭崇	JPN Japan	4:11:23
57	橋川 健	JPN Japan	4:21:59
81	飯島 誠	JPN Japan	4:26:00
82	辻 貴光	JPN Shimano	4:26:00

## 第2ステージ (160km) 5/9

1	MCCANN, David	IRL Giant Asia	4:07:54
2	SEO, Seok Gyu	KOR Seoul City	4:07:58
3	JANG, Seon Jae	KOR Sang Moo	4:08:04
8	廣瀬 佳正	JPN Shimano	4:08:04
9	岡崎 和也	JPN Japan	4:08:04
12	田代 恭崇	JPN Japan	4:08:04
26	阿部 良之	JPN Shimano	4:15:47
28	真鍋 和幸	JPN Japan	4:15:47
31	狩野 智也	JPN Shimano	4:15:47
57	辻 貴光	JPN Shimano	4:19:27
58	橋川 健	JPN Japan	4:19:27
61	飯島 誠	JPN Japan	4:22:25
	大内 薫	JPN Shimano	DNF
	野寺 秀徳	JPN Shimano	DNS

## 第3ステージ (160km) 5/10

1	MCLACHLAN, Robert	AUS MG X	4:05:24
2	PARK, Seong Baek	KOR Seoul City	4:05:24
3	CHOI, Jong Gyun	KOR GA Pyeong	4:06:01
34	岡崎 和也	JPN Japan	4:07:12
42	真鍋 和幸	JPN Japan	4:07:12
45	飯島 誠	JPN Japan	4:07:12
48	橋川 健	JPN Japan	4:07:12
57	阿部 良之	JPN Shimano	4:07:12
60	田代 恭崇	JPN Japan	4:07:12
63	廣瀬 佳正	JPN Shimano	4:07:12
65	狩野 智也	JPN Shimano	4:07:12
66	辻 貴光	JPN Shimano	4:07:12

## 第4ステージ (80km) 5/11

1	LEE, Won Jae	KOR Seoul City	1:44:53
2	REID, Robin Neil	NZL Marco Polo	1:44:53
3	SONG, Jung Geun	KOR SooJaWon	1:45:27
42	岡崎 和也	JPN Japan	1:45:45
45	飯島 誠	JPN Japan	1:45:45
54	田代 恭崇	JPN Japan	1:45:45
55	橋川 健	JPN Japan	1:45:45

59	真鍋 和幸	JPN Japan	1:45:45
63	狩野 智也	JPN Shimano	1:45:45
64	阿部 良之	JPN Shimano	1:45:45
67	廣瀬 佳正	JPN Shimano	1:45:45
68	辻 貴光	JPN Shimano	1:45:45

## 第5ステージ (166km) 5/12

1	HIGGERSON, Shaun	AUS MG X	4:31:43
2	PARK, Seong Baek	KOR Seoul City	4:31:43
3	MCLACHLAN, Robert	AUS MG X	4:31:43
12	狩野 智也	JPN Shimano	4:32:12
33	岡崎 和也	JPN Japan	4:34:38
41	真鍋 和幸	JPN Japan	4:34:38
42	廣瀬 佳正	JPN Shimano	4:34:38
43	田代 恭崇	JPN Japan	4:34:38
46	阿部 良之	JPN Shimano	4:34:38
52	飯島 誠	JPN Japan	4:41:39
54	橋川 健	JPN Japan	4:41:39
64	辻 貴光	JPN Shimano	4:49:07

## 第6ステージ (137km) 5/13

1	MCLACHLAN, Robert	AUS MG X	3:18:05
2	JANG, Seon Jae	KOR Sang Moo	3:18:05
3	KIM, Dong Yeong	KOR YangYang	3:18:05
35	岡崎 和也	JPN Japan	3:19:05
36	廣瀬 佳正	JPN Shimano	3:19:05
39	橋川 健	JPN Japan	3:19:05
46	真鍋 和幸	JPN Japan	3:19:05
48	飯島 誠	JPN Japan	3:19:05
50	阿部 良之	JPN Shimano	3:19:05
52	辻 貴光	JPN Shimano	3:19:05
54	田代 恭崇	JPN Japan	3:19:05
55	狩野 智也	JPN Shimano	3:19:05

## 個人総合成績 (871.5km)

1	MCCANN, David	IRL Giant Asia	22:05:03.68
2	SHAW, Stuart	AUS MG X	22:05:19.85
3	HOLLANDS, Edmund	AUS Marco Polo	22:05:21.61
7	岡崎 和也	JPN Japan	22:07:44.51
9	廣瀬 佳正	JPN Shimano	22:07:48.79
11	田代 恭崇	JPN Japan	22:07:55.20
18	狩野 智也	JPN Shimano	22:13:07.66
25	真鍋 和幸	JPN Japan	22:15:34.28
30	阿部 良之	JPN Shimano	22:15:39.03
51	橋川 健	JPN Japan	22:37:16.52
55	飯島 誠	JPN Japan	22:43:47.12
60	辻 貴光	JPN Shimano	22:48:17.58

## 団体総合成績

1	Giant Asia Racing Team	66:18:07
2	Seoul City Team	66:19:22
3	Marco Polo Cycling Team	66:19:51
5	Japan National Cycling Team	66:26:04
6	Shimano Memory Corp Team	66:31:21

第45回東日本学生選手権自転車競技大会  
(2005/5/8 東京・京王閣競輪場)

## 男子1kmタイムトライアル

1	川村 崇	東京 早稲田大学	1:08.023
2	川崎 大慈	熊本 順天堂大学	1:09.164
3	吉田 将成	岐阜 日本大学	1:09.227
4	水野 悟志	静岡 法政大学	1:09.477
5	内田 晃弘	静岡 順天堂大学	1:09.743
6	三浦 雄大	宮城 東北学院大	1:09.891

## 男子ロード

1	西村 光太	三重 早稲田大学	
2	園田 鉄兵	北海道 北海学園北見大学	

- 3 佐川 翔吾 大阪 順天堂大学
- 4 中村 健志 熊本 日本大学
- 5 伊藤 信 京都 順天堂大学
- 6 白鳥 佑 東京 法政大学

男子4km個人追抜競走

- 1 明珍 周兵 福島 法政大学 4:53.595
- 2 片山 智晴 岡山 法政大学 4:53.761
- 3 成田 将平 青森 法政大学 4:58.954
- 4 西村 行貴 熊本 日本大学 4:59.077
- 5 川西 貴之 岐阜 日本大学 4:59.414
- 6 小豆畑郁也 福島 日本大学 5:01.529

男子ケイリン

- 1 東矢 昇太 熊本 中央大学
- 2 高橋 韻旨 岐阜 法政大学
- 3 鈴木雄一朗 山梨 日本大学
- 4 桜井 太士 鳥取 中央大学
- 5 和田 圭 宮城 東北学院大学
- 6 屋良 朝春 沖縄 日本大学

男子ホクトレース

- 1 柴田 祐也 岐阜 法政大学 25 p
- 2 高島 豪 埼玉 中央大学 18 p
- 3 守澤 太志 秋田 明治大学 16 p
- 4 大野 涼太 青森 中央大学 11 p
- 5 青木 康貴 岐阜 日本大学 7 p
- 6 長江 寿也 青森 中央大学 5 p

男子チームスプリント

- 1 順天堂大学 川崎・佐川・佐藤 1:18.550
- 2 中央大学 小林・桜井・東矢 1:19.032
- 3 日本大学 佐藤博・中村・屋良 1:19.671
- 4 東北学院大 三浦・山田・小池 1:23.109
- 5 東海大学 飯島・嵐田・池田 1:24.520
- 6 法政大学 遠藤・白鳥・堀川 1:25.590

男子4km団体追抜競走

- 1 日本大学 小豆畑・川西・西村・吉田 4:34.316
- 2 法政大学 池浦・片山・柴田・明珍 4:34.895
- 3 中央大学 高島・長江・松原・渡辺 4:39.699
- 4 明治大学 立里・仲村・根本・守澤 4:40.718
- 5 順天堂大 内田・岸本・辻本・野口 4:52.769
- 6 早稲田大 西村・身崎・宮原・吉次 4:58.949

女子500mタイムトライアル

- 1 篠崎 新純 千葉 明治大学 37.957
- 2 佃 咲江 北海道 北見大学 38.658
- 3 岡 希美 群馬 法政大学 38.769

女子スプリント

- 1 佃 咲江 北海道 北海学園北見大学
- 2 篠崎 新純 千葉 明治大学
- 3 岡 希美 群馬 法政大学

女子3km個人追抜競走

- 1 高倉 実希 岩手 早稲田大学 4:16.637
- 2 小淵 千恵 群馬 順天堂大学 4:18.990
- 3 松永 舞美 香川 法政大学 4:20.902

第7回門田杯2005年U-23ロードレース

(2005/5/14 日本CSC 5kmサキット)  
(100km)

- 1 守澤 太志 秋田 明治大学 2:58:10
- 2 中島 康晴 福井 鹿屋体育大 2:58:24
- 3 辻 善光 京都 立命館大学 2:59:06
- 4 渡辺 将大 群馬 中央大学 2:59:09
- 5 石井 陽 京都 立命館大学 2:59:13
- 6 木下 涉 京都 京都大学 2:59:14
- 7 柴田 一樹 神奈川 朝日大学 2:59:18
- 8 根本 大地 東京 法政大学 2:59:23

- 9 須崎 歩 東京 法政大学 3:00:03
- 10 蛭名 洋平 青森 東北学院大 3:00:04

第7回修善寺カップ

2005年女子オープントラックロードレース(2005/5/15 日本CSC 5kmサキット/北400m)

500mタイムトライアル

- 1 岡 希美 群馬 法政大学 38.878
- 2 篠崎 新純 千葉 明治大学 39.342
- 3 牛島 愛 熊本 日本体育大 40.407
- 4 石井 寛子 埼玉 明治大学 40.580
- 5 加藤 尚恵 埼玉 日本体育大 41.064
- 6 濱田 真子 東京 スズカバ 和 42.299

スプリント

- 1 篠崎 新純 千葉 明治大学
- 2 岡 希美 群馬 法政大学
- 3 石井 寛子 埼玉 明治大学
- 4 加藤 尚恵 埼玉 日本体育大学
- 5 牛島 愛 熊本 日本体育大学
- 6 濱田 真子 東京 スズカバ 和

2km個人追抜競走

- 1 井上 玲美 東京 菅生高校 2:57.441
- 2 石井 愛 京都 花園高校 2:59.119

3km個人追抜競走

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大 4:12.968
- 2 村中恵美子 東京 杉ミヅアリ 4:14.644
- 3 高倉 実希 岩手 早稲田大学 4:16.877
- 4 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大 4:18.707
- 5 松永 舞美 香川 法政大学 4:26.249
- 6 永田 萌子 大分 明治大学 4:26.519

ホクトレース

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大学 15 p
- 2 石井 寛子 埼玉 明治大学 14 p
- 3 村中恵美子 東京 杉ミヅアリ 11 p
- 4 高倉 実希 岩手 早稲田大学 6 p
- 5 牛島 愛 熊本 日本体育大学 3 p
- 6 中山 朋子 神奈川 3 p

個人ロードレース(20km)

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大学 40:20
- 2 村中恵美子 東京 杉ミヅアリ 41:38
- 3 堀 友紀代 神奈川 HAMMER BR. 43:30
- 4 宮崎 杏菜 大分 鹿屋体育大学 43:58
- 5 永田 萌子 大分 明治大学 44:40
- 6 井上 玲美 東京 東海大菅生高 44:44
- 7 石井 寛子 埼玉 明治大学 44:58
- 8 高倉 実希 岩手 早稲田大学 46:13
- 9 中山 朋子 神奈川 47:17
- 10 古川ひとみ 新潟 立教大学 47:36

総合成績

- 1 萩原麻由子 群馬 鹿屋体育大学 32 p
- 2 村中恵美子 東京 杉ミヅアリ 24 p
- 3 石井 寛子 埼玉 明治大学 21 p

第2回修善寺カップ

2005年男子ジュニアロードレース  
(2005/5/15 日本CSC 5kmサキット)  
(80km)

- 1 伊藤 雅和 神奈川 法政第二高 2:30:01
- 2 湯浅 徹 千葉 京葉工業高 2:31:41
- 3 森田 大介 和歌山 和歌山北高 2:33:19
- 4 勝沼 麗生 埼玉 スズカバ 和 2:34:21
- 5 石倉 龍二 和歌山 和歌山北高 2:34:23
- 6 福田 真平 神奈川 藤沢総合高 2:34:32

- 7 岩本 力哉 大分 日本大学 2:34:35
- 8 小林 勇介 高知 高知工業高 2:34:37
- 9 初山 翔 神奈川 麻溝台高校 2:34:42
- 10 市山 研 神奈川 法政第二高 2:34:58

第1回全日本実業団サイクルロードレースin伊豆  
(2005/5/21 静岡・伊豆)

第1ステージ<伊豆効行>

BR-2(33.5km)

- 1 大村 萬里 愛知 TeamIチャオト 53:31
- 2 山本 良介 京都 Comrade.com 53:46
- 3 横橋 育示 静岡 ムツバ 0-チ 53:52
- 4 山口 公一 富山 オペスト元E-1 53:53
- 5 横田 光史 茨城 水戸レーシング 53:59
- 6 岩藤 司朗 山口 ダイワボウソックス 54:03
- 7 森下 繁 大阪 シバルリキング 54:05
- 8 小泉 操 埼玉 たかだフルド 54:05
- 9 布施 知洋 埼玉 川ノタツTBC 54:10
- 10 久保田 智 栃木 川ノタツTBC 54:11

BR-3(33.5km)

- 1 櫻井 一輝 静岡 SPADE・ACE 52:19
- 2 阿部 寿完 静岡 YOU CAN 52:40
- 3 秋山 雅俊 岡山 ダイワボウソックス 52:41
- 4 飯田 晋一 静岡 SPADE・ACE 52:44
- 5 木村 将行 神奈川 なるしまフルド 52:45
- 6 砂原 峰男 大阪 masahikomifune 52:45
- 7 二村 雅彦 愛知 TeamIチャオト 52:47
- 8 勝沼 麗生 埼玉 スズカバ 和 52:47
- 9 高梨 学 東京 なるしまフルド 52:53
- 10 小久保俊介 東京 Vitesse-伊加 53:07

女子(33.5km)

- 1 豊岡 英子 広島 bicinoko 1:02:12
- 2 西 加南子 千葉 スズカバ 和 1:02:31
- 3 永山 貴生 千葉 SPACE 1:02:44
- 4 和地 恵美 東京 たかだフルド 1:03:30
- 5 堀 友紀代 神奈川 HAMMER!! 1:04:29
- 6 平松 知子 愛知 BREZZART 1:09:19
- 7 児玉 圭未 静岡 VIVACE掛川 1:09:57

第2ステージ<日本CSC 5kmサキット>

BR-2(40km)

- 1 大村 萬里 愛知 Iチャオト 1:10:56
- 2 増田 成幸 宮城 ヘルキップ 1:10:57
- 3 岩藤 司朗 山口 ダイワボウソックス 1:11:01
- 4 小泉 操 埼玉 たかだフルド 1:11:04
- 5 横橋 育示 静岡 ムツバ 0-チ 1:11:16
- 6 高橋 秀樹 静岡 フィット 1:12:00
- 7 山口 公一 富山 オペスト元E-1 1:12:00
- 8 宗政 昭弘 福岡 チム・チエロ 1:12:51
- 9 山田 隆史 山梨 オペスト元E-1 1:12:57
- 10 塚野 満 千葉 L.ottimo 1:12:57

BR-3(40km)

- 1 木村 将行 神奈川 なるしまF. 1:09:55
- 2 砂原 峰男 大阪 masahikom. 1:09:55
- 3 高江州昌太 東京 輪千レーシング 1:09:55
- 4 勝沼 麗生 埼玉 スズカバ 和 1:10:19
- 5 櫻井 一輝 静岡 SPADE・ACE 1:10:20
- 6 飯田 晋一 静岡 SPADE・ACE 1:10:33
- 7 斎藤 慶尚 東京 JMSbyAMB 1:10:36
- 8 高梨 学 東京 なるしまF. 1:10:36
- 9 永田健太郎 大阪 クワシバ 1:10:37
- 10 阿部 寿完 静岡 YOU CAN 1:10:37

女子(40km)完走者なし

MTBジパングシリーズ J1 XC#2  
(2005/5/22 宮城・泉ヶ岳ｽﾀｰﾄﾞ)

## XC男子エリート(42km)

1	鈴木 雷太	長野 プリヂストン	1:58:24.7
2	野口 忍	京都 TREK	1:58:45.3
3	小笠原崇裕	長野 SUBARU	1:59:00.8
4	辻浦 圭一	長野 プリヂストン	2:00:45.1
5	白石 真吾	大阪 シブドリキョウ	2:01:06.3
6	色川 浩樹	茨城 SPECIALIZED	2:01:29.4
7	松本 駿	長野 TREK	2:01:49.0
8	竹谷 賢二	千葉 SPECIALIZED	2:01:51.4
9	山本 和弘	長野 マキノカノノ	2:02:51.8
10	堂城 賢	長野 GaryFisher	2:03:40.9

## XC女子エリート(30km)

1	片山 梨絵	神奈川 TREK	1:39:36.1
2	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:43:42.2
3	田近 郁美	岐阜 GOD HILL	1:46:04.2
4	矢沢みつみ	山梨	1:46:14.5
5	深井 薫	大阪 GaryFisher	1:46:48.3
6	長井 美香	京都 masahiko	1:48:20.9
7	田崎 綾	千葉	1:51:45.3
8	佐々木優子	茨城 FORZA	1:51:52.2
9	田中クララ	埼玉 SY-Nak	1:52:09.0
10	齋藤 磨実	神奈川 MASA	1:58:25.8

MTBジパングシリーズ J1 DH#1, XC#3  
(2005/6/4-5 長野・富士見ﾊﾞｼﾞﾝｸﾞ)

## DH男子エリート(4.2km)

1	内嶋 亮	東京 G Cross	6:27.41
2	井手川直樹	広島 G Cross	6:32.86
3	高橋 唯之	福島 I7-A&I	6:39.34
4	丸山 弘起	長野 マキノカノノ	6:42.98
5	柴田 幸治	神奈川 A&F SANTA	6:43.70
6	金子 真吾	北海道 PRESS	6:45.23
7	大島 礼治	兵庫 MTBmagaz.	6:45.40
8	竹本 将史	埼玉 プリヂストン	6:45.73
9	塚本 岳	長野 MX/MONG	6:45.91
10	永田 隼也	神奈川 AVEL	6:46.14

## DH女子エリート(4.2km)

1	末政 実緒	兵庫 ｶﾞﾐﾝ	7:35.12
2	福本 弘佳	兵庫 輪娛ﾛｰﾄﾞ	7:48.54

3	猪俣 浩子	神奈川	7:54.05
4	渡辺 ｷﾘ	長野 CANNONDALE	7:59.83
5	服部 良子	神奈川 風魔横浜	8:08.54
6	飯塚 朋子	大阪 ROLL-OUT	8:16.02
7	堀田 直子	愛知 MOVE R.	8:24.32
8	富田 敬子	奈良 TECH IN 式	8:36.61
9	池田 恭子	東京 MAXXIS	8:45.11
10	大西 雅美	兵庫 YRS-ANC	8:49.03

## XC男子エリート(28.7km)

1	鈴木 雷太	長野 BRIDGES	1:50:30.96
2	山本 和弘	長野 マキノ	1:50:31.99
3	辻浦 圭一	長野 BRIDGES	1:51:17.44
4	白石 真悟	大阪 シブドリキョウ	1:52:24.73
5	山口 孝徳	長野	1:53:48.69
6	武井 亨介	茨城 FORZA	1:54:17.52
7	松本 駿	長野 TREK	1:54:58.25
8	宇田川聡仁	長野 MSC KOWA	1:55:44.03
9	色川 浩樹	茨城 SPECIALIZED	1:57:17.46
10	竹之内 悠	京都 ﾈﾞｶﾞﾆｯｸ	1:58:30.31

## XC女子エリート(20.5km)

1	片山 梨絵	神奈川 TREK	1:36:48.19
2	真下 正美	神奈川 SY-Nak	1:39:20.71
3	中込由香里	長野 SY-Nak	1:41:10.06
4	田近 郁美	岐阜 GOD HILL	1:43:30.41
5	長井 美香	京都 masahiko	1:46:03.15
6	深井 薫	大阪 GaryFisher	1:47:58.14
7	佐々木優子	茨城 FORZA	1:49:27.56
8	田崎 綾	千葉	1:51:52.25
9	田中クララ	埼玉 club SY-Nak	-1Lap
10	齋藤 磨実	神奈川 Team MASA	-1Lap

第44回全日本学生選手権予選ロードレース大会  
(2005/6/11 秋田・大湯村ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)

1	中央大学	小林・長江・大野・高島	2:01:17.16
2	明治大学	守澤・立里・根本・仲村	2:01:43.13
3	鹿屋体大	村上・三瀧・中島・片山	2:03:38.87
4	日本大学	糸賀・秋山・吉田・西村	2:03:50.56
5	法政大学	根本・小野寺・大村・島田	2:05:27.28
6	東北学院	星・佐々木・蛸名・高橋	2:05:37.91
7	順天堂大	辻本・田中・村出・佐藤	2:06:42.64
8	京都産大	辻・山崎・太田・前田	2:07:55.32

9	北海道大	山川・辻・柳原・青木	2:08:07.17
10	朝日大学	菊池・柴田・鷹原・和田	2:08:09.00

## 2005年全国学生個人ロードタイムトライアル

(2005/6/11-12 秋田・大湯村ｸﾞﾗﾝﾄﾞ)

## 男子個人ロードタイムトライアル

1	三瀧 光誠	山形 鹿屋体育	42:14.429
2	西村 行貴	熊本 日本大学	42:22.714
3	佐藤 佑一	岩手 順天堂大	42:24.986
4	太田 貴明	京都 京都産大	43:07.241
5	蛸名 洋平	青森 東北学院	43:08.369
6	渡辺耕三郎	神奈川 中央大学	43:12.440
7	柴田 一樹	神奈川 朝日大学	43:13.211
8	佐々木正美	青森 日本大学	43:13.764
9	村上 純平	山形 鹿屋体大	43:19.674
10	吉次 裕司	山口 早稲田大	43:34.129

## 女子個人ロードタイムトライアル

1	萩原麻由子	群馬 鹿屋体大	23:04.830
2	高倉 実希	岩手 早稲田大	23:16.808
3	宮崎 杏菜	大分 鹿屋体大	23:50.439
4	小淵 千恵	群馬 順天堂大	23:58.052
5	永田 萌子	大分 明治大学	24:20.910
6	日暮 千早	鹿児島 鹿屋体大	24:55.736
7	古川ひとみ	新潟 立教大学	25:31.589
8	沼部早紀子	栃木 順天堂大	25:41.387
9	杉村 薫	鹿児島 鹿屋体大	26:42.111
10	中山 朋子	神奈川 -	26:46.711

## 第9回全日本実業団個人タイムトライアル選手権

(2005/6/12 長野・梅池高原)

1	野寺 秀徳	JPCA シムルンｼﾞﾝｸﾞ	1:28:34.7
2	別府 匠	JPCA 愛三工業	1:28:53.7
3	秋山 尚徳	大阪 masahiko	1:28:56.0
4	土井 雪広	山形 シムルンｼﾞﾝｸﾞ	1:29:12.2
5	田中 聡	東京 BSIｽﾀｰ ﾋﾞﾙ	1:29:31.5
6	西村 拓也	京都 ミヤｽﾊﾞ ﾋﾞﾙ	1:30:52.3
7	綾部 勇成	大分 ミヤｽﾊﾞ ﾋﾞﾙ	1:31:10.5
8	箕 五郎	長野 あづみの	1:31:11.8
9	村山 利男	東京 Vitesse	1:31:29.5
10	廣瀬 佳正	JPCA シムルンｼﾞﾝｸﾞ	1:31:41.6

## 財団法人日本自転車競技連盟 個人情報保護方針

財団法人日本自転車競技連盟(以下、本連盟といたします)は、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護法に基づく以下の方針により個人情報の保護に努めます。

## 1. 個人情報の取得について

本連盟は、適法かつ公正な手段によって個人情報を取得します。

## 2. 個人情報の利用について

本連盟は、個人情報を取得の際に示した利用目的の範囲内で利用します。

## 3. 個人情報の第三者提供について

本連盟は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。

## 4. 個人情報の管理について

本連盟は、個人情報を正確かつ安全に管理します。

本連盟は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、適切な対策を講じます。

## 5. 個人情報の開示・訂正・追加・利用停止・消去について

本連盟は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・追加・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求がある場合は速やかに対応します。

## 6. 個人情報保護の徹底について

本連盟は、この方針を実行するため、本連盟役員及びその他の関係者(業務委託先を含む。)に周知徹底させるとともに、個人情報保護意識の教育・啓発を図ります。



6月9日、10日にオランダのハーグにおいてUCI理事会が開催され、決定した重要な事項についてお知らせします。

- 2008年の北京オリンピック種目から男子1kmタイムトライアルと女子500mタイムトライアルを外すこと。

2008年北京オリンピックで正式種目としてBMX男女2枠が採用されたことにより、IOCより種目の削減を迫られていた。UCI理事会は、これまでトラック委員会でも慎重に検討を重ねた上、国内連盟の意見も取り入れ評価した結果として最終的に決定された模様。(6月10日付のUCIプレスリリース参照 <http://www.uci.ch>)

### インフォメーション コーナー

#### 全日本ロード選手権大会

6月25日から26日に静岡県・日本サイクルスポーツセンターで行われる全日本ロード選手権大会の動画が見られます。<http://www.it-bb.net/event/roadrace2005>(静岡県自転車競技連盟)

連盟10周年記念誌「あゆみ」- 1934～2004 - が発行されました。

内容は、連盟のあゆみ、それぞれ思い出、記録など。A4サイズで約200頁御希望の方は、現金書留で「あゆみ希望」と明記のうえ連盟事務局までお送りください。頒布価格 3000円(送料込)

ツール・ド・とうほく、今年は8月12日から14日に開催

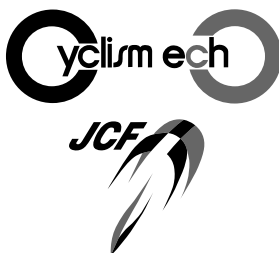
今年で13回目を数える三笠宮杯ツール・ド・とうほくが今年も開催されます。秋田大湯村～岩手紫波町～宮城仙台市をめぐる男子高校生と女子の日本唯一のステージレースです。女子参加チームを募集しています。参加希望のチームは連盟事務局(電話03-3582-3713)担当松本まで至急ご連絡ください。

日本スポーツマスターズ2005

35歳以上で競われる本大会、昨年の福島に続いて本年は9月24日から25日に富山競輪場で行われます。申し込みの締め切りは各都道府県車連によって異なります。所属の各車連にお問い合わせください。  
<http://www.japan-sports.or.jp>(日本体育協会)

### 連盟の動き (5月下旬～6月下旬)

5月19日	第1回ロード競技部会	於：静岡・御殿場市
21日	ツール・ド・とうほく実行委員会	於：宮城・仙台市
22日	第1回選手強化委員会・スタッフ部会合同会議	於：千葉・柏市
23日	監査法人監査	於：東京・連盟会議室(～25日)
29日	トラック強化合宿	於：福島・泉崎(～30日)
30日	四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル実行委員会	於：三重・四日市市
31日	ジャパンカップ推進委員会	於：栃木・宇都宮市
6月3日	監事監査	於：東京・連盟会議室
4日	トラック女子強化合宿	於：静岡・日本CSC(～12日)
7日	第1回総務委員会	於：東京・連盟会議室
9日	第1回常務理事会・第1回選手強化本部会	於：東京・連盟会議室
10日	チョンジュMBC国際ジュニアロードレース日本代表選手団出発	於：大韓民国・チョンジュ市(帰国 19日)
16日	第2回理事会	於：東京・自転車会館3号館会議室
17日	第1回広報委員会・広報部会	於：東京・連盟会議室
23日	第1回評議員会	於：東京・自転車会館3号館会議室



シクリスムエコー No.119 2005年6月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩楯昭一

編集人/加藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー



森永製菓株式会社健康事業部



株式会社サテライトジャパン